

編集後記・・・

早いもので故入来院貞子さんとお別れして一年四ヶ月過ぎました。今年命日月の五月には重朝さんが高城書店から「貞子の語る入来文書」と「茅門のある町から」を出版されました。拝読しますと夫の故郷をこよなく愛し、家族への愛、さらに皆様と絆を強めたいとお気持ちを変えて感じます。さらに、本冊子が故貞子さんの思いを受け継いで縁のある方相互の絆を強めることが出来ればと願う次第です。今回は入来院家の長女串田久子さんをお願いして寄稿頂きました。額紫陽花の思い出では、勝手な主張を是とする本冊子に心温まる話題を提供頂いたと有難く思っております。編集担当（中西喜彦）

人間の身体には、時間の経過を感じる体内時計と呼ばれる時計があるそうです。この体内時計は、歳を重ねて新陳代謝が弱まるとそれに準じてゆっくりに進むようになり、その結果、相対的に外の時間の経過がはやく感じられるようになるのだそうです。

いうわけで、昨年の第7号の発刊からあつという間の一年でした。

第8号も、文集のレイアウトとイラスト挿入および印刷所との折衝を担当させて頂きました。第7号の書式を踏襲しましたが、細かいところで迷ったところは、第6号までの文集を聞いて、故貞子さんの編集フイーリングを参考にさせて頂きました。

皆さまの珠玉の原稿、有難うございました。

編集担当（下土橋渡）

「炉ばたセイ談」 第8号

炉ばたセイ談会会長 桐野三郎

編集担当 中西喜彦

下土橋渡

事務局〒895-1402

薩摩川内市入来町浦之名130

入来院重朝方

電話・ファックス 0996-44-3586

印刷 新大同印刷株（0996-30-1811）